

統合開発環境CS+ V3.02.00への リビジョンアップのお知らせ

統合開発環境CS+をV3.01.00からV3.02.00へリビジョンアップします。

1. アップデート対象バージョン

CubeSuite+ 共通部分 V1.00.00～V1.03.00 および V2.00.00～V2.02.00

CS+ 共通部分 V3.00.00～V3.01.00

バージョンの確認方法は、以下のURLをご参照ください。

https://www.renesas.com/cs+_ver

2. リビジョンアップ内容

2.1 全体の機能追加

- Windows 10 (32 ビット および 64 ビット) のサポートを追加しました。

2.2 CS+共通部分(ビルド、デバッグ および 解析機能等の共通部分)

- CS+ for CC (RX, RH850, RL78用)の共通部分をV3.01.00からV3.02.00へ更新しました。
- CS+ for CA,CX(78K, RL78, V850用)の共通部分をV3.00.01からV3.01.00へ更新しました。

CS+ for CC V3.02.00 および CS+ for CA,CX V3.01.00では、以下のような更新を行っています。

(1) CS+ for CC (RX, RH850, RL78用)

(a) 全体の機能改善

- プロジェクト・ファイル監視機能を追加しました。
- プロジェクト・ファイル名変更機能の処理を変更しました。
- メッセージ ダイアログ機能を拡張しました。
- スプラッシュウインドウ機能を追加しました。

- オプション ダイアログ("全般-ビルド"カテゴリ)機能を拡充しました。
- CS+を全画面表示にする機能を追加しました。
- RH850 ファミリの RH850/D1x シリーズ および RH850/P1x-Cシリーズのサポートを追加しました。

(b) エディタ・パネルの機能追加

- エディタ・パネルをフローティングにする機能を追加しました。
- インクリメンタル検索機能を追加しました。
- CS+をコマンドラインで操作する際に、"/np プラグイン名" オプションまたは"/nall" オプションにて、エディタ・パネル プラグインを無効にしないように変更しました。

(c) ビルド・ツールの機能追加

- ビルド・ツールのプロパティに値を設定する際、設定した値をすべてのビルド・モードに反映する機能を追加しました。

(d) メモリ・マップ・プロファイラの機能追加

- プロファイルに適したビルド・オプションに一括変更する機能を追加しました。
- エディタ・パネルにジャンプする機能を追加し、メモリ・マッピングの確認からソース・ファイルの参照 および 編集までの時間短縮を行いました。
- メモリ・マッピングの名前変更機能を追加しました。
- ファイル保存機能を拡張しました。

(e) デバッグ・ツールの機能追加

- ウォッチパネルにウォッチ・データを展開して保存する機能を追加しました。

この機能により、配列、ポインタ型変数、構造体/共用体、レジスタのビットまたは ビットフィールド(注)などのウォッチ式を展開状態で保存することが可能です。

注: ウォッチリストに表示可能な名前の付いたビット または ビットフィールドに対応しているレジスタのみ

(f) デバッグ・ツールの注意事項の改修

- RENESAS TOOL NEWS 資料番号 150416/tn2で連絡した以下の問題を改修しました。

ブロックのネストが深いソースコードを記述する場合の注意事項
問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=150416tn2>

(g) I/Oヘッダ生成ツールの機能追加

- I/O ヘッダ・ファイルをカスタマイズする機能を追加し、必要なモジュールのみの選択と、I/Oヘッダ・ファイルの分割が可能となりま

した。

(RH850ファミリのみ)

- MISRA-C:2004 ルール(Rule 6.3, Rule 6.4, Rule 10.6 および Rule 18.4)に適合したI/O ヘッダ・ファイルを出力する機能を追加しました。

(RH850ファミリ、RL78ファミリのみ)

(h) 解析ツールの機能追加

- 動的解析を有効にする機能を拡張しました。
- 関数一覧パネルの関数属性を拡張し、RL78 ファミリ用コンパイラ CC-RLのcallt 関数に対応しました。
- 関数一覧パネルに実行時間を表示する機能を追加しました。

(RH850ファミリのみ)

- 時間をクロック数で表示する機能を追加しました。

(RH850ファミリのみ)

(i) Pythonコンソールの機能改善

- Python関数を追加し、デバッグ・ツールの状態をファイルに保存することを可能にしました。

(2) CS+ for CA, CX (78K, RL78, V850用)

(a) デバッグ・ツールの機能改善 (V850ファミリ(注)のみ)

- 以下のデバッグ・ツールの起動時間を短縮しました。

MINICUBE、E1/E20(JTAG)、E1/E20(LPD)

注: V850E2Mコア および V850E2Sコアのみ対応

2.3 ビルドツール

(1) CC-RH (RH850ファミリ用ビルドツール)

V1.02.00からV1.03.00へ更新しました。

詳細内容は以下のURLで確認してください。(10月20日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/CC-RH_List.html

(2) CC-RX(RXファミリ用ビルドツール)

V2.03.00からV2.04.00へ更新しました。

詳細内容は以下のURLで確認してください。(10月20日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/CC-RX_List.html

(3) CC-RL(RL78ファミリ用ビルドツール)

V1.01.00からV1.02.00へ更新しました。

詳細内容は以下のURLで確認してください。(10月20日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/CC-RL_List.html

2.4 コード生成

(1) CS+ RL78コード生成 (CS+ for CC)

V2.09.00からV2.10.00へ更新しました。

本更新は、CS+ のアップデートにともないバージョン番号を変更するもので機能に変更はありません。

(2) CS+ RL78コード生成 (CS+ for CA, CX)

V2.09.00からV2.10.00へ更新しました。

本更新は、CS+ のアップデートにともないバージョン番号を変更するもので機能に変更はありません。

2.5 デバイス依存情報

(1) CS+ RL78デバイス依存情報(CS+ for CC)

V3.00.03からV3.00.04に更新しました。

V3.00.04では、以下の更新を行っています。

(a) スタートアップルーチンの修正

ミラー領域がないマイコンのスタートアップルーチンを修正しました。

詳細内容は以下のURLで確認してください。(10月20日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RL78_List.html

(2) CS+ RH850デバイス依存情報

V3.00.02からV3.00.03へ更新しました。

V3.00.03では、以下の更新を行っています

(a) サポートマイコンの追加

以下のグループにおいてサポートマイコンを追加しました。

- RH850ファミリ RH850/D1Lグループ
- RH850ファミリ RH850/D1Mグループ
- RH850ファミリ RH850/P1M-Cグループ
- RH850ファミリ RH850/P1H-Cグループ
- RH850ファミリ RH850/F1Hグループ
- RH850ファミリ RH850/F1Mグループ

(b) デバイス情報の修正

以下のグループに関連するデバイス情報を修正しました。

- RH850ファミリ RH850/E1Lグループ
- RH850ファミリ RH850/E1M-Sグループ
- RH850ファミリ RH850/F1Hグループ
- RH850ファミリ RH850/F1Mグループ
- RH850ファミリ RH850/P1Mグループ

詳細内容は以下のURLで確認してください。(10月20日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RH850_List.html

2.6 USBドライバ

以下のUSBドライバを更新し、CS+V3.02.00に対応しました。

- IE850用USB ドライバ(32ビット版)

V1.10.10からV2.76.01へ更新しました。

- MCU Tools用 USBドライバ(64-bit Windows OS)のインストーラ
V2.76.00からV2.76.01へ更新しました。

2.7 CS+ ユーティリティ

V3.01.00からV3.02.00へ更新しました。

詳細は、以下のURLで参照ください。(10月20日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/Utilities_List.html

3. アップデート方法

無償でオンラインアップデートできます。アップデート方法はお持ちのCS+によって異なります。

注意: CubeSuite+から、CS+ V3.02.00へのアップデートを行った場合、

ビルドツール CC-RL が無償評価版として追加されます。

ただし、従来のRL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ (CA78K0R、CA78K0) のライセンスでは、CC-RL無償評価版 の制限は解除できません。

CC-RL無償評価版 の制限を解除してご使用する場合には、RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1 (CC-RL) の製品版を新たにご購入ください。

ご購入方法の詳細は、「5. 購入方法」をご参照ください。

3.1 CS+ V3.00.00以降を使用している場合

以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

(1) スタートメニューから プログラム -> Renesas Electronics CS+ を
選択し、アップデートマネージャを起動してアップデートする。

(10月20日からサービス開始予定)

注意: ラピッドスタートを有効にしてCS+を起動している場合は、

CS+を一旦終了した後にアップデートマネージャを起動してください。

ラピッドスタートによりCS+がWindows上の通知領域(タスクトレイ)内に常駐している場合は、エラーが発生し、以下のメッセージが表示されます。

M0120001

"CubeSuiteW+.exe"

が起動中のため、インストールは中断されました。

次回ツール起動時に再開されます。

(2) 以下のURLから必要なソフトウェアツールをダウンロードして
インストールする。(10月20日から公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

3.2 CubeSuite+ V2.00.00~V2.02.00を使用している場合

3.1と同じ方法でアップデートしてください。

3.3 CubeSuite+ V1.03.00以前を使用している場合

以下のURLから無償評価版CS+ for CC V3.02.00 または CS+ for CA,CX V3.01.00をダウンロードしてアップデートしてください。(10月20日から公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

4. 評価版の入手方法

製品版CS+を購入する前に、無償評価版で製品の機能や性能を評価できます。以下のURLから無償評価版CS+ for CC、または、CS+ for CA,CXをダウンロードしてください。

(10月20日からインストーラ公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

なお、無償評価版のインストール時に、CubeSuite、CubeSuite+のライセンスまたは別売りのCS+のライセンスを入力することで製品版として使用することができます。

注意: RL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ V1 (CA78K0R、CA78K0)

のライセンスではRL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ V1 (CC-RL) の無償評価版の制限は解除できません。

RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ V1 (CC-RL) の無償評価版の制限を解除してご使用する場合には、RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ V1 (CC-RL) の製品版を新たにご購入ください。

5. 購入方法

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業 または 特約店までご連絡ください。

製品名:

RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:

RTCRL7800CS01WDR standard版 媒体ありの場合

RTCRL7800CS01WNR standard版 媒体なし、ライセンスのみの場合

RTCRL7800CL01WDR professional版 媒体ありの場合

RTCRL7800CL01WNR professional版 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:

RL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:

R0C07800QSW01D 媒体ありの場合

R0C07800QSW01N 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:

RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V2

発注型名:

RTCRX0000CS02WDR standard版 媒体ありの場合

RTCRX0000CS02WNR standard版 媒体なし、ライセンスのみの場合

RTCRX0000CP02WDR professional版 媒体ありの場合

RTCRX0000CP02WNR professional版 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:

V850ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:

R0C08500QSW01D 媒体ありの場合

R0C08500QSW01N 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:

RH850ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:

RTCRH8500CS01WDR standard版 媒体ありの場合

RTCRH8500CS01WNR standard版 媒体なし、ライセンスのみの場合

RTCRH8500CP01WDR professional版 媒体ありの場合

RTCRH8500CP01WNR professional版 媒体なし、ライセンスのみの場合

価格については最寄りの弊社営業 または 特約店にお問い合わせください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。